

月刊

立川と語ろう 立川に生きよう

えくてびあん

〈EKUTEBIAN-VOL.2, JULY 1985-EKUTEBIAN〉

7

●新連載

街角の瞳

by Cain de Tachikawa

「酒井和歌子さん」

創刊一周年記念号



まい あーと・「少女と赤い花」 by 坂井久美子

立川10円友の会編

物価はある。お金の価値はさがる一方。10円玉なんか、近頃の子供はふりむきもしないという。いや、オレだってまだまだと、ある日、10円玉が曲をくいしばってつぶやいたものだ。わが10円友の会では時間と金にイトメをつけずに、足をホーにして10円玉の存在証明を捜しまわった。



①アカ電話
10円玉1個でなんと全国ツツクワツク。何秒間かは読める。昭和28年以來、ここは10円玉の王国だ。



②画用紙
世界堂(ワイル7階)たかが画用紙とアチビってはなりません。10円の紙の中からピカソが生まれるかもしれません。



③コピー用紙
エース写真店(柴崎町2丁目)世はあけてコピー時代であります。コピー代が10円の店もまだにはあります。然して、世は10円時代であります。



④消しゴム 世界堂(ワイル7階)
⑤ムシ いのはなサイクル(銀町2丁目)
⑥クリップ 世界堂(ワイル7階)
⑦資料用受け皿 市川機型店(銀町1丁目)
⑧練紙 むぎばたけ(銀町2丁目)
⑨白食用ボタン 1個10円 ハツヤ(ワイル5階)
⑩おはじき 3個10円 むぎばたけ(銀町2丁目)
⑪ピー玉 1個10円 むぎばたけ(銀町2丁目)
⑫おから 2人分10円 中屋米店(銀町2丁目)



⑬あめ 1個10円 高島屋(曙町2丁目)
⑭チョコレート菓子 各10円 むぎばたけ(銀町2丁目)
⑮ラムネ 1個10円 高島屋(曙町2丁目)
⑯⑰⑱ こんぶ、ガム、黒糖 各10円 むぎばたけ(銀町2丁目)
⑲⑳㉑ 明治のガムネ 須崎商店(赤羽町1丁目)
㉒㉓㉔ ジュース、チョコファニー、マンボ むぎばたけ(銀町2丁目)



㉕②③ あられ、ガム、ヨーグルト 各10円 むぎばたけ(銀町2丁目)
㉖④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿



①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿



①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿



昭和30年まで発行されていた「拾圓札」には紙葉堂々の風格があったものだ。現在値は10円=1,500円と市広い(バクオ)アトム中尺4円)



㉞①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

TACHIKAWA TOPICS



多摩川リフレッシュ

6月2日(日)環境週間に先がけて、早朝7時より立川市と立川実行委員会(三田鶴吉委員長)主催による多摩川河川敷と残堀川の清掃が行なわれた。ライオンズクラブ、ポニーイスカウト、国際ソロプチミスト立川、真如苑、立川青年会議所、立川警察署長はじめ32人のお巡りさん等々約5000人を数え、集まった約8トンものゴミの山に驚きの声しきり。

さわやかな初夏の日差しの中で、こころよい汗をたっぷり流した。そもそも、この清掃の始まりは、18年前の昭和42年1月10日、ポニーイスカウトの育成会長であった三田さんの呼びかけで、少年達の育成の場として、費用千円、運動くつを持参してください。連絡先0425-3511049笠貫、36-431-1菊池(午後7時以降)。

☆尾高忠明と東京フィルで「第九」を歌おう! 12月をめざして、今ドイツ語がわからなくても、音譜が読めなくても「第九」は歌えます。初参加者のための練習は7月19日から。共にベートーベンの音楽を学び、心を学び、みんなで一つの音楽を創りあげ公演を成功させましょう。お問い合わせ・申し込みは三多摩第九合唱準備会 0425-7619247。

☆立川フイールドノート 矢川を散

立川伝言板

☆フオークダンスへのおきこい
初心者講習会—皆さまのおいでをお待ちしています。お気軽にどうぞ。日時—7月の毎月曜日(1・8・15・22・29日)午後7時から中央公民館にて。費用千円、運動くつを持参してください。連絡先0425-3511049笠貫、36-431-1菊池(午後7時以降)。

☆命の電話開局記念にチャリティ美術展を開催 命の電話がこの立川に開局して話題をまいたが(電話5-4343)多摩在住画家を中心にチャリティを開く。場所は「ウィル」9階ホール。6月25日から30日。

☆日本フィル十親と夏休みコンサート・シンフォニー(ベートーベン)「運命」他、オーケストラとみんなでおたのしみ(指揮 今村能)など、楽しいプログラムが用意されている。前売券は立川市市民会館(0425-261131)および市内各プレイガイドにて。

☆松竹大歌舞伎特別公演—7月28日12時と4時30分。尾上梅幸、中村扇雀など豪華な顔ぶれが立川に。演目は「勳進帳」他。前売券は立川市市民会館と市内各プレイガイド。

成と地域社会への奉仕から始められた。昭和49年の台風の時、多摩川が大氾濫し、ゴミが大災害のもとになった事からマスコミでも大いに注目された。

また15年目にあたる昭和57年には、環境庁長官はじめ政務次官も視察される程に地域社会の行事へと発展していった。

そして今年で18年目を数え、当時小学生だったポニーイスカウト達も、今では20代後半から30代と成人し、体で味わった体験を生かし社会の中堅として活躍している。

石油ショックの時のビニール袋の高かった事、集まったゴミを毎日多摩川で燃やした事、清掃後少年達と野球大会を行なった事を今、三田さんはなつかしく思いだしている。

●昼休みの窓口業務再開
市役所は六月三日から、昼休みも窓口業務を行なうようになり、市民によるこぼれている。

46年9月の閉鎖以来、14年ぶりに再開されたもの。多摩地区26市のうち22番目というから、決して早い方ではない。それだけに市民からの要望も強かったといえる。

昼休みの窓口業務は正午から午後一時まで、市役所市民課、砂川支所、立川駅連絡所の三ヶ所を実施されている。

菊地市民課長は「昼休みの窓口はお勧めなどでお忙しい方に、ぜひご利用いただきたいと思えます。しかし昼休みの窓口では、限られたものしか交付できませんので、他の諸届けは通常の受付時間におこし下さい」と語っている。限られたものは、戸籍謄本・抄本と住民票、印鑑証明をさす。くれぐれも、ご注意ください。

表紙は語る

坂井久美子さん
「好きで描いているだけだから表紙になんて、恥ずかしいですよ」と謙遜することシキリ。絵を描くのが大好きという人たちが集まって「立川美術会」をつくっている。坂井さんも会員の一人。作品の、若々しさ、は坂井さんのフレッシュな感性がそのままキャンパスに表現されているようだ。表紙の、少女

えくてびあん弁当

立川駅南口、名産通りへ出る手前にある、ほかほか弁当「きやり亭」では「えくてびあん弁当」(幕の内にフレッシュサラダ付で四百円)を特別サービス(7月20日まで)。弁当の命、お米は、まじりけなしのササニシキ宮城米を使っ

Heart to Heart
ボーナスで 優定期
心のゆめを大切に
ハチの銀行
第一勧業銀行

10円余聞

ずいぶん前に、こんな話を聞いたことがある。一円玉が道端におちいても拾わない方がいい、腰をかかめて拾うと一円以上のエネルギーが要るから。

近ごろの、10円事情、はそれに似ているみたい。10円玉を見せても、立く子は黙らない。取材で「お宅に10円の商品ないでしょうか」と聞いたら「そんな安っぽいもんうちにはないわよ」ときたもんねえ。

10円は「安い」かも知れないが「安っぽく」はないのです。10円を噛みつぶすのは10円に泣く、でありますよ。赤電話の前で10円玉の持ちあわせがなくてキョロキョロしていた貴方が、ゆうべ見ちゃいましたよ。

立川の花 2 つつじ



山内美郷
人が花を思う時は、その色や形ばかりでなく、香りも、そしてその花が咲く頃の空模様や気温なども、合わせて思い浮かべているように感じます。

例えばあじさい。低く垂れこめた雨雲と、ちよつと羽織るものが欲しいような湿った空気と、ひっそりなしの雨音が思い浮かびます。

そこへいくとつつじは得な花だと思えます。思い浮かべるのは、まず青空、そしてうららかな陽光、緑のそよ風……。人が快速だと思えば、人が大きなビルのロビーや、あまり緑はありませんが、大きな料亭の玄関などに、季節になると立派なつつじが枝ぶりも見事に

と赤い花。は約二ヶ月を費した大作。「とにかく一生懸命でした」と語る。

毎週水曜日、西砂川の地域センターで例会がある。この写真もその時のものだが、どうですこのイキイキとした坂井さんの表情!

生けられたりしますが、一般には、庭で咲いたものを切って来たという場合以外に、つつじを切り花として楽しむことは少ないように思われます。つつじはやはり地面から生えたままの姿が自然です。

つつじというのは、強い花なのでしようが、季節になると、あちらこちら、どこにでも咲いています。特にまとまって咲いた土手や堤や公園には、花を染しもうと人が集まりますが、葉も見えないほどに咲いた花の洪水は、見事だとは思いますが圧倒されてしまい、美しいとは思いません。

一輪一輪よく見ると、つつじの花は端正な美しい形をしています。

やつと手に入れた小さな家の、庭とも言えないほど小さな庭の片すみに、咲いたからといって驚かれる訳でもなく、愛でられる訳でもないけれど、季節になると必ず咲いて見せる、つつじの花の美しさは、そんな気負いのない地道さにあるような気がするのです。

真如苑 だより

いよいよ夏、本番です。海や山へお出かけの方も多いいと思います。真如苑では暑さに負けず、今月も皆さまをお迎えする準備パンタムです。

お気軽にお出かけください。

●日時 7月27日(出) 午後2時から4時まで。

●御本尊、真如宝物館のご案内をはじめとして映画など盛りだくさんの用意がしてございます。

●立川市民(成人)に限らせて頂きます。

●お申し込みは「えくてびあん・コンパニオン」本誌を手渡してくられた人へ。

真如苑 だより
いよいよ夏、本番です。海や山へお出かけの方も多いいと思います。真如苑では暑さに負けず、今月も皆さまをお迎えする準備パンタムです。お気軽にお出かけください。●日時 7月27日(出) 午後2時から4時まで。●御本尊、真如宝物館のご案内をはじめとして映画など盛りだくさんの用意がしてございます。●立川市民(成人)に限らせて頂きます。●お申し込みは「えくてびあん・コンパニオン」本誌を手渡してくられた人へ。

立川クイズ

姉妹都市を「ご存知ですか? 海外などの都市と友好関係をもち、共に文化発展のために姉妹都市の関係を結ぶものです。たとえ東京とニューヨーク市、日野市とレットランズ市(米国・カリフォルニア州)、青梅市とポツバルト市(西ドイツ・ラインランド州)。では、立川市の姉妹都市はどこ?」

6月号の答え—

丸ポストは現在、24個が立川市にあります。従って答えは③です。

★読者プレゼント発表
5月号でお知らせした読者プレゼントの当籤者は次のお二人でした。

●タプチくんサイン
成田理生男様 (54才)公務員
紙人形。まさかり金太郎。
大山 靖子様 (42才)主婦

編集室から

創刊1周年記念号をお届けいたします。●これを記念して立川の風光を、立川の俳人によって頂き(谷川水車さんほか)、山室正男さんの切り絵で暑中見舞用絵ハガキに仕立てました。3枚1組です。えくてびあんコンパニオンによって貴方に届けられると思えますが更にご希望の方、まだ手にしておられない方、多少の残部がございますので、当工房までお申し出ください。●今月から「街角の瞳」がはじまります。立川のどんな片隅にもカメラマンが眼をひからせています。街角の瞳は、あなたの「瞳」でもあります。●本誌では女性ライターを募集しております。ご自身、あるいはお友だちでございましたら教えてください。●夕雲に木立色増す。えくてびあんに

月刊「えくてびあん」第12号
昭和六十年七月一日発行
発行所 えくてびあん編集工房
東京都立川市柴崎町2-4-11
フラインビルディング 3F
電話 0425(0)0082
編集人 立井啓介
発行人 沖野嘉男
印刷所 株式会社立川印刷所

おしゃれをひと際にした女魔術師

●今月は
酒井和歌子さん



立川高島屋4階は、黒山のヒトダカリであった。ひと目でいいから和歌子さんの麗姿を、と集まったが、いざその姿をみせるや会場にとよめきがおこった。タメ息であります。実物？はスクリーンの彼女よりもはるかにスルドイ美しさ。和歌子さんが「ファツション・トーク」をはじめると、目の前を通るモデルさんが着ている。たかが洋服たちが、ひと際の光をおびてみえるから、アーラ不思議。ご用とお急ぎの方も、さアお立ちあい！



タンタンとご自分の考えを述べるだけで会場はシーン、さすがは魔術師！



トツジョとして木原美智子さんが友情出演で登場、当日一番の“大付録”。



ただでさえ美しいモデルさんたちが酒井さんのトークでひと際の輝きが。



なにげない姿の中に、清涼なムードをたぎらせて、さすがに女流のカンロクをみせてくれた。二回のステージに輝きをみせてくれた。